

上咽頭炎(のど風邪)

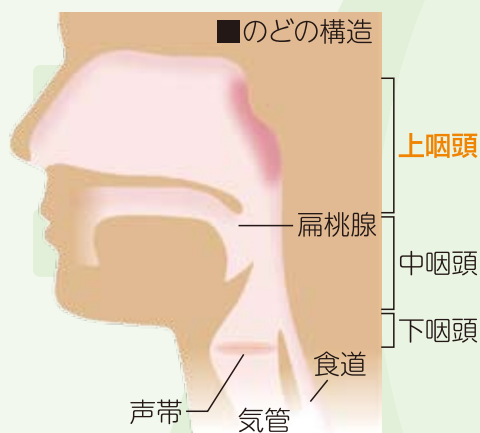
ふくおか耳鼻咽喉科

〒477-0032 愛知県東海市加木屋町2-224-2

TEL (0562) 38-2800

咽頭とは

「のど」のことを専門用語で**咽頭**といひます。
咽頭は場所によって上咽頭、中咽頭、下咽頭に
分かれており、上咽頭は鼻の奥からはじまり、
下咽頭はのどボトケの下あたりまでになります。



咽頭炎とは

「のど風邪」のことを**咽頭炎**といひます。咽頭の粘膜に風邪のウイルスや細菌が付着して感染、炎症が起きた状態が咽頭炎です。特に上咽頭の炎症を**上咽頭炎**と呼びます。

★ 症状が急に変わることもあります。疑問な点や困った事がありましたら、なるべく早目におたずねください。

症状

多くの場合が、のどの痛み、痰のからみを自覚します。さらに炎症が強くなると、のど粘膜が化膿し膿が付くようになり、発熱や頭痛、関節痛、身体のだるさなどの風邪の症状を自覚するようになります。また、耳のつまりを感じることもあります。

当院での治療

抗菌剤や去痰剤、消炎鎮痛剤の内服薬の処方を行います。またうがい薬やトローチを処方する場合もあります。炎症が強く、症状も強い場合は点滴治療を行います。また、吸入療法(ネブライザー)を行うことで、のどの腫れを鎮める効果が期待できます。

予防

普段からのうがい大切です。水道水でも十分効果があります。また夏はクーラーが強いと温度と湿度が下がり、のどが乾燥し、風邪を引きやすくなるので、設定温度を下げすぎないようにしましょう。冬は加湿器を使用し湿度を60%程度に上げて、空気の乾燥を防ぎ、風邪のウイルスの増殖を防ぐようにしましょう。

おだいに
なさってください。

